

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人

奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」

代表者・役職名 氏名 理事長 喜入博一

1. 助成プロジェクト名

青空ホームあまみ 環境整備事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当法人の所長が、消防署勤務時代に非行少年たちと出会い、関わりを持つ中で彼らの生い立ちを知り「力になりたい」と支援を始めたのがきっかけです。その後、奄美合気拳法の発足に伴い「子ども相談室」を設け、24時間365日子ども達の支援を行っていました。その活動を続けていく中、賛同してくれる方々の協力により、2001年にNPO法人の設立に至りました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

開設時に譲り受けたホーム内の中古備品が不具合を起こしており、買い換えが必要です。また冷暖房設備の故障や子ども達の思い出作りに必要なデジタルカメラを現在所有していない状態です。子ども達が快適に生活を送れるよう、環境の整備が必要ですが、開設時の資金不足により実施が困難であるため、今回のプロジェクトに申請しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

下記の備品を購入します。

- 冷暖房設備:故障中のエアコン2台を新しいものへ入れ換えます
- 洗濯機:2台の内、不具合を起こしていた1台を新しいものへ入れ換えます
- 炊飯器:経年劣化し不具合が生じているため、新しいものへ入れ換えます
- 掃除機:経年劣化し度々不具合を起こすため、新しいものへ入れ換えます
- デジタルカメラ:同法人の別ホームからその都度借用していたため、当ホーム用として1台購入します
- ドライヤー:当ホームにドライヤーが無く、不便さを感じていたことから1台購入します

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

冷暖房設備、ドライヤー…子ども達の生活がとても快適になりました。
洗濯機…大型のものを購入したことで衣類だけでなく、寝具等も洗うことができるようになり、衛生面でもよい効果を得られました。※洗濯が億劫な子どもも、新しい洗濯機を使い、定期的に洗濯をするようになりました。
掃除機…掃除が苦手な子どもも新しい掃除機を使用し、自分の部屋を綺麗に保とうと意識するようになりました。
炊飯器…美味しいごはんを子ども達へ提供できるようになりました。
カメラ…ホーム用として使用できるようになり、多くの思い出ある写真を残すことが出来るようになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後は、生活が快適になった事で生じる生活管理や経費管理の大切さについて、これまで以上に働きかけ、子ども達が自活力を養っていきけるよう関わっていきたいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり